

# 常任委員会の動き

## 第1常任委員会

《平成24年6月20日開催》報告及び審議事項

### 【都市環境部】

○留萌市小型家電回収事業について

《平成24年6月29日開催》報告及び審議事項

### 【都市環境部】

○留萌市南部衛生組合広域ごみ処理について

《平成24年7月12日開催》報告及び審議事項

### 【総務部】

○平成24年度留萌市平和祈念事業の実施について

○留萌市の節電に対する取り組みについて

○平成24年度防災訓練の実施について

○平成23年度決算見込み（速報）について

### 【都市環境部】

○平成24年度発生「公共土木施設災害復旧事業」

○平成24年「第2回上下水道運営委員会」の開催結果

### 【各所管共通】

○平成24年度留萌市一般会計補正予算（第2号）

《平成24年8月23日開催》報告及び審議事項

### 【総務部】

○平成23年度留萌市公の施設に係る指定管理者の評価について

○留萌市災害時要援護者支援プランについて

○海拔標示板の設置について

○平成24年度普通交付税及び臨時財政対策債発行可能額について

○平成23年度決算資料について

○平成23年度留萌市一般会計に係る放棄した債権の報告について

○留萌市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について

○留萌市教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例制定について



市内200ヶ所に設置された海拔標示板

### 【地域振興部】

○平成24年度市民アンケート「基本集計」について

○平成24年度地域づくり総合交付金の実施経過について

○平成24年度ふるさと会の開催予定について

○留萌観光感動事業「るもい観光感動物語」について

○住民組織運営助成金の交付状況について

### 【都市環境部】

○新しいごみ処理（案）について

○平成24年度都市計画変更業務の進捗状況について

○専決処分報告（訴訟等3件）について

○平成23年度水道使用料の債権放棄について

### 【各所管共通】

○平成24年度留萌市一般会計補正予算（第3号）

## 第2常任委員会

《平成24年6月26日開催》報告及び審議事項

### 【教育委員会】

○留萌小改築計画説明会概要（6月12日以降）について

○給食への異物混入の疑いについて

《平成24年7月10日開催》報告及び審議事項

### 【教育委員会】

○留萌小学校改築計画の変更に係る要望書の提出と両校PTA計画変更の了承について

《平成24年8月21日開催》報告及び審議事項

### 【市民健康部】

○平成24年度補正予算（案）について

○平成23年度留萌市介護保険事業特別会計・一般会計に係る放棄した債権の報告について

○介護保険給付金請求事件について

○札幌医大地域医療基礎実習について

○介護保険料納入通知書の保険料額の錯誤について

### 【教育委員会】

○平成24年度補正予算（案）について

○留萌市教育委員会行政組織規則について

○5月22日開催のフッ化物洗口説明会の概要及び参加人数等について

○給食センターの危機管理マニュアルについて

### 【市立病院】

○平成23年度留萌市立病院事業会計に係る放棄した債権の報告について

○平成24年度患者集計表（7月分）について

○患者一部負担金の未収金について

## もくじ

- P 12 平成24年第3回定例会議決事項
- P 13 常任委員会の動き
- P 14~17 第3回定例会一般質問項目
- P 18 組合議会報告ほか
- P 19 議会活性化推進特別委員会からの報告ほか

# 議会です こんにちは

平成24年第3回定例会（9月4日から9月18日）で可決されました諮問1件、認定3件、報告11件、議案8件、意見書4件の内容を紹介いたします。

## 諮 問

第2号 人権擁護委員の推薦について

## 認 定

第1号 平成23年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について

第2号 平成23年度留萌市水道事業会計決算の認定について

第3号 平成23年度留萌市病院事業会計決算の認定について

## 報 告

第15号 平成23年度留萌市の健全化判断比率の報告について

第16号 平成23年度留萌市の資金不足比率の報告について

第17号 平成23年度留萌市一般会計に係る放棄した債権の報告について

第18号 平成23年度留萌市介護保険事業会計に係る放棄した債権の報告について

第19号 平成23年度留萌市水道事業会計に係る放棄した債権の報告について

第20号 平成23年度留萌市病院事業会計に係る放棄した債権の報告について

第21号 専決処分の報告について（損害賠償について）

## 議 案

第51号 平成24年度留萌市一般会計補正予算（第3号）

第52号 平成24年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

第53号 平成24年度留萌市港湾事業特別会計補正予算（第1号）

第54号 留萌市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について

第55号 留萌市教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例制定について

第56号 留萌市教育委員会委員の任命について

第57号 留萌市教育委員会委員の任命について

第58号 議員の派遣について

## 意 見 書

第15号 税制全体の抜本改革の確実な実施を求める意見書

第16号 気象事業の整備拡充を求める意見書

第17号 自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書

第18号 中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書

平成24年 第3回定例会

一般質問と答弁を  
ご紹介いたします

菅原千鶴子 議員  
(民主クラブ)

問一 病院経営と患者満足度について

市立病院の掲げている「患者サービスの向上」の理念が共有されているか。職員すべてにどれだけ浸透し、実践されているか検証が必要だと思

過去に行われた患者満足アンケートでも、待ち時間や職員対応が問題視されていた。待ち時間の軽減策として施設利用の改善や検査待ちの時間短縮方法など利便性の向上について提案させていただきたい。

答一 運営方針の実現のため、各部署に組織目標を設定し、目標達成の重点項目を設けた。全職員を対象にした発表会を設けるなど課題や改善策を認識することになる。



利活用が期待される旧幌糠中学校

問二 今後の廃校利活用について

今後、留萌市が平成二十三年度に提示した留萌市立小中学校適正配置計画を推し進めることで、留萌市内に廃校が増えることになるが、これらの利活用について教育長にお聞きしたい。

答二 老朽化が著しく進んでいる校舎、体育館に関しては解体の方向とし、旧幌糠中学校に関しては幌糠小学校の閉校も視野に入れながら地域と

CS（患者満足）委員会の取り組みばかりでなく、患者目線に立ち、業務改善を進め

ご意見については院内各所で常に見直しを行い協議し、対応可能であれば改善していく。

問二 鳥獣被害防止対策について

留萌市では鳥獣被害防止計画を策定しているが、多くの課題を抱えている。エゾシカやトドの捕獲と合わせ、活用について検討されているようだが、実態を知りたい。留萌市の捕獲頭数を観ると焼却炉の建設などは、とても考えられない数字であるが、広域処理という考え方を将来構想としてお持ちであればお答えいただきたい。

答二 近年、エゾシカ被害が増加傾向にあり、関係機関と連携を取り、エゾシカ対策・トド対策を研究する。捕獲頭数の増加に合わせ、

の連携も含めて利活用の方法を検討する。

松本 衆司 議員  
(萌芽クラブ)

問一 機構改革

四月の機構改革、庁内配置について、市政執行方針では「より機能的で効率的な組織体制の整備」といっているが、約半年が経過し、現在の状況（所期の想定どおり機能しているか）をどのように捉えているか。また、庁内配置に対する市民の反応はいかがか。



集約された窓口

答一 市政執行方針の重点を具体化しながら、迅速で良質な市民サービスと、将来的な

ワンストップサービスの実現を見据えた組織の見直しを

食肉加工や処理についても、情報収集し、広域で処理することを検討し、協議して行きたい。



増加するエゾシカ

燕 昌克 議員  
(萌政会)

問一 再生可能エネルギー政策について

北海道の陸上風力発電のポテンシャルは全国一である。この巨大な可能性は、私たちの財産であり、大きなビジネスチャンスである。この地域において、固定価格買取制度を活用した事業が進んでいるのか。市長の再生可能エネルギーに対する考えを伺いたい。

答一 国のエネルギー政策の動きを見ながら、地域の研究

会へ参加し、風力発電を中心に、様々な再生可能エネルギーの導入に向け、地域としてできる事を研究する必要がある。また、固定価格買取制度は、発電する側にとってコストの回収が容易であり、取り組みが加速する可能性がある



期待が高まる風力発電

問二 高齢化社会について

超高齢社会を迎え、高齢者の知恵と経験を活かした雇用の場も必要であると考えますが、例えば、先般導入した、食品乾燥機械を活用した事業の可能性について市長の考えを伺いたい。

答二 こさえるに設置した食品乾燥機械は、規格外の農産物を活用し、六次産業化や新たな商品、素材の研究開発

を考えた

坂本 守正 議員  
(民主クラブ)

問一 学校給食センターについて

給食センターの民間委託は平成二十二年に調理機器の入れ替えを優先するという理由で見送ったが、いまだに整備計画が示されていない。二年前の時点ですでに調理機器の耐用年数が過ぎており、早急に計画を示すべきではないか



給食センター

答一 調理機器を入れ替える場合は、国の補助対象とならないので、費用の九千万円は

一般財源で賄わなければならない。財政健全化計画中であり、留萌小改築事業に多額の

に向け大いに期待している。市としても、豊富な経験と知識を持った高齢者がいきいきと働けるような雇用の場が創出できるように、関係機関と連携し取り組んでまいりたい。

川口 宏和 議員  
(萌芽クラブ)

問一 留萌市立小中学校適正配置計画について

平成二十九年度までに沖見小学校と港北小学校を留萌小学校に統合する。そして幌糠小学校を潮静小学校に統合した後に潮静小学校を緑丘小学校に統合する。また、北光中学校が港南中学校に統合する計画を作成しているようだが、これまで学校が地域で果たしてきた役割は歴史や文化の創造に寄与し公共施設としての機能のほかに地域事情にも配慮した上で保護者の方々や地域の方々との十分に協議を行う必要がある。

今後の学校の統合に向けた取組みについて教育長にお聞きしたい。  
答一 過疎化少子化の進行に対応するために小学校三校、中学校二校に再編する計画。

費用がかかることから調理機器や業者の選定などについて再度検討しながら総合的に判断する。また、給食センター

は平成三年に完成、築二十一年が経過し施設整備についても今後の財政状況を見極めながら対応していきたい。  
問二 フッ化物洗口について

フッ化物洗口普及事業については賛否両論の考え方があり、学校での集団フッ化物洗口について保護者に有効性だけでなく、反対意見もあることを説明し慎重に行うべきではないか。

答二 留萌小では、保護者、教職員への説明会、実技研修会を重ね一定の理解を得た上で実施している。今後も反対意見など様々な意見があることから慎重に進める。

天谷 孝行 議員  
(留萌公明党)

問一 地域振興策について

再生エネルギー特に風力発電では留萌地域が全国的に観て最も潜在性の高い地域で、新産業創出や観光産業など地域経済に与える影響は大きい。地域振興策として、本格的に

取り組むべき政策と考える。七月には、国の固定価格買い取り制度がスタートした。国の動向について質問したい。

【答一】 経済産業省研究会中間報告で留萌・宗谷地域を風力発電の重点整備地区として国の支援を想定した送電網の整備が必要と発表した。北海道全体の整備費用は二、九〇〇億円と試算した。政府のエネルギー規制・改革アクションプランが閣議決定され、再生可能エネルギーの制度が見直され導入が加速される。今後国の動きを注視して施策展開の可能性を研究する。

【問二】 防災・減災の取り組み  
防災・減災を推進するため防災行政無線・避難所の環境整備などインフラ整備が必要であり、併せて、自主防災組織や避難訓練の実施、要援護者対策などハード面とソフト面の両立した対応が必要ではないか。

【答二】 留萌市においても社会資本の老朽化が著しい状況にあり、公共施設の長寿命化整備計画を策定し施設の改修を実施する防災訓練や出前トークなどを通して、市民の皆さま

んの防災意識を高める自主防災活動を支援する。



はじめて実施された防災運動会

対馬 真澄 議員 (萌芽クラブ)

【問一】 高齢者が安心して暮らせる為の対策  
高齢者が急激に増加している中で、高齢者支援の総合相談窓口として、地域包括支援センターの役割は益々重要になると考える。しかし、その認知度が低い現状について伺いたい。

【答一】 地域包括支援センターは介護予防事業、総合相談支援事業、高齢者に対する虐待の早期発見や防止への対応、成年後見制度の活用支援、ケアマネージャーに対する指導、

【問二】 市政懇談会の意義と市政への反映  
市政懇談会で出された市民意見に文化・スポーツ関係などの全道大会誘致が相次ぎ、経済効果も高まっており、宿泊施設の充実を望む声がある。沖見小や幌糠中の廃校舎利活用策として宿泊施設として再生する考えはあるか。

【答二】 宿泊に伴う経済効果を考慮すると交流人口の増加に繋がる。夕張市は、廃校舎をホテルとして利活用している。他市の事例を参考に学生や合宿などで利用しやすい低料金施設の設置について、研究する必要があると考えている。

野崎 良夫 議員 (無党派)

【問一】 新財政健全化計画について  
計画の残り三カ年で、健全化項目のうち何を重点的に回復させるかである。

特に、職員給与については最終年次に向けて、段階的に回復を図っていくのか。また、温水プールぶるもの再開について、年度内に結論を出すべきであると思うが、

助言を行うケアマネジメント業務を行っている。広報紙、出前講座等、あらゆる機会を通じて周知活動を進める。併せて、相談窓口の分かりやすい名称なども検討する。



地域包括支援センター

【問二】 教育環境の整備  
近年、子供を取り巻く環境の変化が、いじめ、不登校、非行、暴力行為といった問題行動に影響を与えている。こうした子供の心の問題を解決する為にスクールカウンセラー、地域の関係機関と連携して子供の問題解決に取り組むスクールソーシャルワーカーを留萌市では設置している。教育相談体制の現状と課題について伺いたい。

【答二】 市内三中学校に、ス

お伺いする。

【答一】 職員給与の回復については、国の地方財政対策や、市立病院の経営状況も見ながら統合的に判断して行く。温水プールについては、財源的な見通しや、運営の在り方などを含めて、検討しているところである。

【問二】 道の駅について  
留萌らしさを十分に生かした地域振興の拠点として、快適なドライブの休憩、レジャーに道の駅は絶対必要である。船場公園の管理棟が二十七年

【答二】 休憩、情報発信、地域の連携の三つの機能を有する



船場公園完成予想図

クールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校支援員の三名を配置、問題解決に当たっている。状況をみて、来年度以降の相談体制を検討。

珍田 亮子 議員 (萌政会)

【問一】 市政運営について  
財政健全化に取り組んでいる中、温水プール休止中に、なぜ、留萌海岸花火大会を開催したのか。また、来年も継続するのか。

【答一】 持続的な地域経済の活性化を進める施策も必要であると考え実施した。庁内で議論を重ねながら来年度以降も取り組みを考えていきたい。

【問二】 環境政策について  
来春からの新たなごみ分別に関する市民周知及び増え続けている不法投棄対策のために、ポイ捨て禁止条例を制定して取り組むべきである。

【答二】 八月二五日に市政懇談会を開催し、新たなごみ分別について説明をした。今後は市内六箇所のコミュニティセンターと公民館で説明会を開始する。留萌南部衛生組合

でごみ処理方針が決定後、市内三〇ヶ所で、さらに詳細な説明会を開く予定である。ごみの散乱防止については、廃棄物の適正処理及び環境美化に関する条例で罰則が定められている。今後も不法投棄防止に向けた取り組みや、啓発を進め、道条例に基づく罰則の適用を視野に入れ、関係機関と迅速かつ適正な対応を継続していきたい。



ごみ捨て禁止看板

村山ゆかり 議員 (萌芽クラブ)

【問一】 留萌港の発展に向けて  
留萌港と東アジア地域との交易拡大の一つとして、中国への間伐材輸出の可能性について市長のお考えを伺いたい。

【答二】 二十三年度「子どもの体力アップ推進事業」として、留萌体育協会に委託、東光小学校三年と四年の四クラスをモデルに、体育授業への指導者派遣と、スポーツセンターを会場にアクティブチャイルド教室を実施し成果も見えた。全小学校で実施が可能となるよう、指導者養成に取組みたい。



コーディネーショントレーニング風景

坂本 茂 議員 (共産党)

【問一】 特別養護老人ホームの入所待機者救済について  
特別養護老人ホーム萌寿園の定員は五〇名。ここに空きを待っている入所待機者が一〇七名。このうち同居で自宅介護を余儀なくされている方が十二名。二十四時間介護サービスを提供する事業所はありません。

【答一】 特に同居の方で、在宅介護で不安な生活環境にある方が一〇名も居るといふことは、行政として出来るだけ早く施設において介護体制がとれる様努力してまいりたい。

【問二】 小中学生の体力と運動機能の向上について  
昨年度一部で実施した「コ

### 留萌南部衛生組合議会報告

九月三日に南部衛生組合議会が開催され、議事に入る前に、組合長より「増毛町御料に建設中の一般廃棄物最終処分場における今回の追加工事の件について、組合議会未決の補正予算を執行し工事に着手したこと、組合議会の議員に対し一連の情報公開が遅くなったこと」について公式に謝罪があった。

議案第五号平成二十四年度留萌南部衛生組合一般会計補正予算についての審議では、ごみ処理場建設費五千八百七十六千円について、六月に現場を視察した時点ですでに問題があったにもかかわらず、報告がなかったことは、議会に対する情報提供の在り方が問われるということもあり、五人の議員が質問を重ねた。議案承認に当たり採決方法を挙手採決とし、賛成多数で本案は承認されたが、今後の課題として、議会への情報開示の遅れなどが無いように襟を正して事業が推進されることが望まれる。

また平成二十五年度から開



増毛最終処分場の工事状況

始される新しいごみ処理の冊子作成予算や生ごみ処理施設で使用する「アーススラブ菌」購入の補正予算も一括審議され承認された。

生ごみはたい肥型からアーススラブ菌による微生物処理による消滅型となり、悪臭防止や、維持管理が容易になる。また循環型社会の形成に寄与することを目的とする容器包装廃棄物のリサイクル制度に基づき留萌市・増毛町・小平町でもごみの減量化、資源化が進められることになる。

これにより、今まで留萌市では有料で回収していた、プラスチック容器の中で、容器リサイクル法対象品目は無料となる。今後は、説明会の開催や冊子の全戸配布により、広く市民に理解を求めていくことになる。

### 留萌消防組合議会報告

留萌消防組合議会行政視察が、七月二十六・二十七日の両日、八雲町消防本部、滝川地区広域消防事務組合滝川消防署江竜支署にて実施されました。

視察事項は一般質問でも懸案事項であります『消防庁舎』『消防団』とし、特に庁舎はまもなく築五十年を迎える現在の施設を考えた際に、防災拠点としては、非常に不安要素の多い建物で、喫緊の課題でもあります。

消防は市民の安心安全の為に、より機能的に防災活動に対応できる施設と設備が必要であり、そのための市民理解も求められています。今後の議論を進める上でも今回の視察は有意義であったと感じます。



装備品の説明を受ける組合議員

議会では、普段あまり使われない議会用語とよばれる言葉がたくさんあります。その中から、よく耳にする言葉をわかりやすく説明します。

### 議会用語の解説

【委員会】 本会議に提案された議案などを、少人数の議員で専門的・能率的に審査するための機関で、常任委員会、特別委員会があります。

【一般質問】 本会議で議員が広く市政全般に関し事務の執行状況や市政の方針などについて報告や説明を求めたり、疑問をただしたりすることです。定例会に限り認められています。

【会期】 議会が会議を行う期間（開会日から閉会日まで）のことをいいます。

【会派】 議会内において、考え方や意見が一致するグループのことをいいます。

【定例会】 議会で審議される事項の有無に関わらず、定期的に召集される議会のことをいいます。地方自治法により毎年（一月一日、十二月三十一日）、条例で定める回数を召集することとなり、留萌市では年四回（三・六・九・十二月）と定めています。

【答弁】 本会議や委員会などで、議員の質疑・質問に対して市長や教育長・関係部長などが回答や説明を行うことをいいます。

【傍聴】 市民などの議員以外の方が、会議の状況を直接見聞することです。

【本会議】 定例会や臨時会において、全議員で構成する議会の会議のことをいい、議案の審議や市議会としての最終意思の決定（議決）などを行います。

【臨時会】 議会の会議の一つで、定例会の他に臨時に必要がある場合、必要な特定の事件に限って、随時これを審査するために召集される議会のことをいいます。

### 議会活性化推進特別委員会の中間報告

委員長 野崎 良夫

第二回定例会以降、三回の委員会を開催し、第三回定例会に次の決定及び確認事項について報告をした。

一、時代の変化に応じた議会運営や、議会の機能強化を更に進めて行く必要がある。そこで、「議会基本条例」制定に向けて、具体的な調査研究を開始する。

二、議会基本条例の調査研究を進めるにあたって、先進都市の視察を行うこととする。都市は、名寄市と士別市の二市とし、日程は十月初旬とする。

三、調査項目の「議員定数、報酬、政務調査費」については、議会基本条例と基本部分でリンクすることから、議会基本条例の調査研究と並行して進めて行くこととする。

### 第六十回北海道女性議員協議会

第六十回目という節目の時に八月二十五日、二十六日の両日、第六十回北海道女性議員協議会を開催することができました。

珍田亮子議員を筆頭とした留萌市の議員（菅原千鶴子議員、村山ゆかり議員、対馬真澄議員、鶴城雪子議員）と管内（増毛町・小平町・羽幌町・初山別村）女性議員が理事を務め、同協議会へは全道各市町村より女性議員八十五名が参加されました。

総会では提出された十一件の議案審議、意見交換を行い、国・道への要望書を作成しました。

翌日の研修会では、NPO法人るもいコホートピア理事長小海康夫氏による講演を受講していただき、研修の一環として、健康の駅にてコミュニケーションカフェテリアでランチ体験をしていただき、大変好評を得ました。

### 議会を傍聴して

おむすび会代表 小笠原 タキ工

平成元年に留萌市教育委員会が婦人学級を開催し、終了後卒業生で継続してもっと学習した、仲間作りをした、という会員の声で平成二年四月に「おむすび会」を結成し現在に至っております。準備の段階から、会則づくり学習計画と、設立に向け社会教育課長、係長、社教主事と色々指導を受け、発会式を迎える事ができました。学習内容は月一回で青少年問題、婦人問題、料理教室、国際交流、ボランティア活動、又、留萌のまちづくりに参加させて頂きました。この度の議会傍聴も今年度の学習会として、傍聴致しました。高齢化社会に向けて、健康で、楽しく自分のことは自分で出来るように二十年間培ったものを地域づくりに参加できたらと思っております。

長年留萌市に住んでいます、病院のことや、市内の税金の事が気になります。税金が大切に使われているとは思いますが、こんなに不景気が続くと働きたくても働けないで困っている人がいるのに議員はわかっているのか、どんな質問をするのか聞いてみたいと上がってきました。

傍聴席は空いていて、あまり人がいないので、市役所の人も議員も緊張していない感じに見えましたが、ペテランだから、こんな感じなのかとも思いました。でも、一生懸命話している議員の姿を見ると真剣なんだなと思えました。終わってから声をかけたら、来ていることに全く気付いていなかったというので、本当に集中していたんだと思い改めて真剣なことに気づきました。これからは真剣に留萌のことを考えてほしいと思いました。

沖見町 荒木 光男

### 議会広報特別委員会から

九月四日から第三回定例会が開会され一般質問と、決算審査特別委員会、本会議が行われ十八日に閉会しました。

前回の定例会より、一般質問の内容を録音して留萌市議会のホームページで聴くことができるようになりました。

そして今回の、市議会だよりの中に議会の中で普通に使われる用語についてわかりやすい解説コーナーを設けました。市議会だよりでは定例会にて行われた一般質問と答弁の一部を記載しております。

もっと詳しく知りたい方は留萌市議会のホームページの会議録の中に検索システムがありますのでこちらをご覧ください。これからも市民の皆様にはわかりやすくお伝えしますので、ご意見・ご感想などお気軽にお寄せください。

- 委員長 菅原千鶴子
- 副委員長 鶴城 雪子
- 委員 川口 昌克
- 委員 天谷 孝行